

肉製品、乳製品製造業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16~17	ペットフード製造工場で、製品を台車の上に積み上げていたとき、足元にあった空の台車に気が付かず、足を取られて転倒し、左ひざを打つ。	65~299	100
2	20~21	トイレに向かい歩行していたところ、通路から製造場へとつながる緩やかな傾斜に足を取られ、足首をひねり左第5趾中足骨骨折した。	64~999	500
2	14~15	当社バラ凍結場内において、トンネルフリーザーの掃除をするため、トンネルフリーザーの扉を開けた時に、凍っていた床に足を滑らせて転倒してしまった。その際に頭部の上の方を床又は壁にぶつけてしまい、コブが出来てしまった。	54~299	100
2	15~16	食肉加工工場内のスライサー（肉を自動でカットする機械）の作業中に床面で足を滑らせ、後ろ向きに転倒し、その際、右肘を強く床面に打ちつけ右肘を骨折した。	71~29	10
2	9~10	台車を使い当社冷蔵庫に製品を搬入し出る際に、バランスを崩し転倒負傷した。（足が滑った。）	43~29	10
2	12~13	昼休みに帰宅するためロッカーへ向かう途中、トイレ前通路で滑り膝から転倒した。この事故直前には、トイレ清掃・清掃業務委託先が清掃しており、通路上の水拭きがきちんと行われておらず表面に残っていた水膜状態の中で発生したものである。転倒時に直前を歩いていた者が気付き、その他数名の手をかり、しばらく安静の後、病院にて受診となったものである。	66~49	30

3	13~14	歩道上にて、取引先に商品を納品する為、荷物を持って歩道を移動中、一部御影石になっているところで足が滑り、咄嗟に右手をつき右手小指を骨折した。	53	30 ~ 49
3	13~14	豚解体室から脂クズの入ったタンクを押して内蔵生冷却庫に入室し、生冷库の中間ぐらゐに差しかかった際、足を滑らして後方に転倒し、頭を打った。	51	100 ~ 299
6	16~17	食肉加工室で清掃作業中に床が濡れている為、滑って転倒した。その際、左腕を床に強打し、冷凍ストッカーと床との隙間に左手が入り込み、母指を脱臼した。	55	1~ 9
6	9~10	当工場において、衣付け作業の交代に入ろうと歩行していた際、足を滑らせ右手を床につくように転倒した。	58	50 ~ 99
6	13~14	油脂製造場所のクッカー（脂炊き釜）の下にある蓋を専用の棒状の器具で閉めようとした際、棒が外れ、バランスを崩し、同時に立っていた床が滑り、手をついてしまい右肘を脱臼した。	35	10 ~ 29
6	17~18	作業場内で洗浄した機械の部品を、台座にコンテナを乗せた状態で、床を滑らせて移動中にバランスを崩し、直す際に足が滑り、左膝を床に打った。	22	100 ~ 299
7	9~10	閉店前に売場冷蔵庫の温度管理表を記入しようとしたところ、隣の店舗で通路のモップ掛けをした後の床が乾いておらず足を滑らせ転倒した。	54	50 ~ 99
7	11~12	アイスクリーム製造・バイターラインB2カートナーの業務に従事中、充填機とカートナー間のフィルム接続部の警報サイレンが鳴ったため、確認・復旧のため、歩行中の方向を転換し、接続部に移動しようとした際、バランスを崩し左足に体重がかかり左足を捻った状態で転び骨折した。	43	100 ~ 299
7	9~10	当社工場内にてフライヤーに継ぎ足す用の一斗缶油を取りに行った際、長靴が滑って転倒し、顎から床に打ちつけ前下歯ぐきを強打し、下顎を骨折した。当日はそのまま仕事を継続したが、夕方になり体調が悪くなった。	25	50 ~ 99

7	17～ 18	工場内の冷凍庫の中で後片づけをしているとき、食肉加工品を棚に片付け、出口に向かおうと歩いていたとき（長靴着用）、通路で滑って転び、左足膝を通路のコンクリートの床についたときに負傷した（左膝蓋骨骨折）。	69	1～ 9
7	16～ 17	冷凍保管庫にある半製品を台車で運び出すため、庫内に入り半製品の入ったダンボールを取ろうとした際、右足が滑りバランスを崩した。その際、前のめりに四つん這いの状態で転倒し、両手・両膝を床で打った。	67	300～ 499
9	15～ 16	食品製造現場で、袋入りスモークチップ（約16kg）を手で運びエレベーターの乗せる作業でエレベーター前に来た時、閉まる合図のブザーが鳴ったため慌ててエレベーターに乗ろうとしたところ、足が滑り後ろ向きに転んだが手にスモークチップの袋を持っていたため、手をつけず腰と背中を強打した。	33	100～ 299
9	8～9	朝通勤時、当社敷地内の駐車場より徒歩で社屋へ向かう途中、バランスを崩し左足に痛みを感じ負傷した。	43	10～ 29
9	9～ 10	事業所内に於いて、冷凍庫よりサンテナ搬出時、冷凍庫前のスロープで滑り後ろ向きに転倒し、腰と後頭部を強打し負傷した。	69	30～ 49
10	7～8	従業員専用駐車場より会社へ向かう途中、急いで車道を渡り、歩道を渡り終えて旧工場敷地内の通路に入った直後、転倒し、左手をついてしまったため、左手人差し指ならびに中指を骨折した。	55	300～ 499
11	18～ 19	会社の裏にある駐車場において、終了業務にあたる車のカギを取ろうとした際、暗闇だったこともあり、誤って足を滑らせ、地面に強く手をつき負傷したものである。	61	10～ 29
11	19～ 20	構内下請自社工場内において所定労働時間内通常業務中、ラックに製品を納め持場へ戻る為、扉を閉めようとして壁際に設けられたL鋼に躓き転倒する際に、前方に倒れたため両腕を体の重みで負傷した。	47	100～ 299
11	14～ 15	合材工場において、ダンプの荷台で合材にシートを掛ける作業が終わりダンプから降りる時、ステップから滑り落ちた際、右膝を強打負傷したものである。	64	100～

				299
11	16~ 17	第3工場センターレス室で心金製品の外観検査を行っている時に、袋詰めされた製品1袋（重量2~3kg）を椅子に腰掛けたまま持ち上げた際、背中に激痛が走った。3日程度自宅で療養した後、病院で診察してもらった結果、「胸椎圧迫骨折」と診断された。	67	300 ~ 499
11	8~9	工場内作業場から駐車場に隣接する荷出しホールへ朝礼のため向かう途中、通路が水で濡れていて滑って転んだ。転んだ際、右手をついた為右手首を骨折した。	60	50 ~ 99
11	9~ 10	冷凍庫内で小分け作業の為、ピッキングをしている時に、床面が滑り易くなっており、後方に転倒し、腰部、頭部を打撲、左股関節を痛めた。靴も滑り易かった。	61	100 ~ 299
11	15~ 16	作業終了後、掃除当番のため掃除場所の洗い場に向かっている途中で、誤って滑り、左腕を強打した。	67	50 ~ 99
12	10~11	当社作業場構内において、鶏を積んだトラックが到着したので、懸鳥ホームに報告と確認をするため、休憩室を出て、外を移動していた時、コンクリート地面が凍っている事に気づかず、滑って転倒し、右足首を骨折した事故である。	36	30 ~ 49
12	10~11	食肉生産課工場内において、鶏カット作業中に、原料の鶏ムネ（1ケース12.0kg）を冷蔵庫からまな板まで両手で抱えて運搬中、床面で滑り、背面に転んだ。その際、支えるために着いた左手首を骨折した。	70	300 ~ 499
12	15~16	作業終了後、工場内で拭き掃除中に、右手に拭き掃除用のタオルを持ったまま移動していたところ、床が濡れていたため足を滑らせて転んだ。その際に左手をついたため、左手に全体重がかかってしまい、左手首を骨折した。	61	50 ~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html